



平成26年9月15日

資源素材学会 GA企画セッション 「グリーンアジアのためのエネルギーおよび資源確保の戦略」報告

企画責任者 笹木 圭子 教授
報 告 三木 一 助教

資源素材学会秋季大会(熊本)において、グリーンアジア共催として上記企画セッションが昨年に引き続き行われた。午前の部としてエネルギー/資源戦略について5件、午後の部として先端技術について4件、英語による学生セッションとして10件が発表された。学生の発表者は引き続きポスターセッションに参加するスタイルとした。参加者はおおよそ40名ほどであった。

まず笹木教授によるGAの紹介と本企画発表の説明がされ、その後、秋田大学リーディングの取り組みが紹介された。その後は九州大学の教員より、GA副コーディネータ林潤一郎教授によるバイオマスについての研究、九州電力出身の原田達朗教授による今後の電力についての報告、糸井龍一教授による九州の地熱についての報告がなされた。続いて、資源戦略、先端技術をテーマとした研究者のセッションとして、都市鉱山、レアメタル確保、環境材料などについて研究発表がなされた。いずれもこの分野で日本を代表する著名な研究者で、広くまた深い視点からの報告は活発な議論となった。その後、博士候補生及び博士課程の学生の研究発表が10件行われた。多数の発表を限られた時間で行うため、発表時間は5分で質疑応答なしとし、その後行われるポスターセッションに引き続いて参加することとした。教育的観点より発表、ポスターともに英語で行われた。質の高い研究が多く、ポスター賞が本企画発表から得られた。

昨年より引き続いての企画発表であったが、昨年著名な海外教授を招聘した関係からか本企画発表は広く知られており、本年は日本を代表する複数の著名な研究者よりご協力いただいた。グリーンアジアのテーマに沿った広い視点での報告が複数の観点、テーマよりなされ、有用な企画発表だったと思われる。学生発表を本企画発表に組み込んだことにより、教育的観点からも大変高価があったと思われる。前回でも感じたように、リーディングプログラムについて外部に

アピールする機会というのは意外に少なく、学会の企画発表という形で紹介した今回の機会は外部にとっても聞き入れやすかった印象があった。企業や他の大学に対しての印象も大きかったと思われ、今後とも積極的に行っていくべきだと思われる。ご協力いただきました林潤一郎先生、原田達朗先生、糸井龍一先生方に深く感謝いたします。またこのたび多方面にご援助をいただきました。この場で深くお礼申し上げます。

